

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

第8回家庭教育セミナー（親子新聞づくり編）開催！

～家庭教育支援チームかすやB（かすや子育て研究会かぶとむし）～

平成31年1月27日（日）、サンレイクかすやにおいて、「かすや子育て研究会・かぶとむし（コーディネーター中村隆）」による家庭教育支援セミナーが開催されました。今回のメインは子供が新聞に慣れ親しむ方法を親子で学ぶことです。54名の参加者でセミナーはにぎわっていました。



① 親子でできるレクリエーションやミニ授業

- ・手遊び歌 原田 奈緒美 氏
- ・親子で協力！新聞からひらがな探し 古屋 璃沙 氏
- ・時計の読み方 平岡 史崇 氏
- ・家族対抗新聞ジャンケン！レクリエーション 井上 浩希 氏

② 講座：新聞活用のおさについて 木村 宏之 氏

③ 参加者発信子育て情報

④ 親子で新聞づくり 木村 宏之 氏

参加型の家庭教育セミナーは大成功に終わりました。教材となる新聞は、NIE・西日本新聞社から当日の朝刊を提供していただきました。ひらがなを探す、折りたたんで乗る、切る、貼る等いろいろな新聞の使い方を楽しむことができました。

特に、木村宏之氏（日新館小学校非常勤講師、福岡県NIEアドバイザー）には、小学生の子供たちが新聞



を活用することの可能性や新聞教育の目的を示していただきました。

親子で新聞づくりには、幼児から中学生、大人まで挑戦しました。西日本新聞（当日朝刊）から記事を選び、それを画用紙に貼ってコメントを書くという活動を行いました。多くの参加者が一面の「大坂なおみ氏のテニスの記事」を選ぶ中、イチゴや相撲の記事を選ぶ子供たちもいました。40分ほどで新聞を完成させ、最後にはステージで大人も子供も発表しました。同じ新聞でも、読み方が多様にあることを参加者は実感していました。



今回は、以前の公立高校入試問題を解いたセミナーの時に参加者から出た「新聞から学べる子を育てよう。」という意見によって生まれた企画です。子供たちの柔らかい感性に、大人も学ぶ必要があると感じました。また、ご参加いただいた西日本新聞社の須ノ内記者に、子供たちが逆に取材する場面もありました。参加者の子育て活動紹介も2本あり、一期一会の会となりました。

セミナー後、「家に帰って複数の新聞を読み比べています。」「毎日の新聞を取りに行くことを嫌がらなくなりました。」「大人も新聞の読み方が分かりました。」等、様々な感想が寄せられました。